

## 修復後の松ヶ岡の風景



貴人用玄関口  
通常の玄関はこの横側  
になります



広縁より庭園を望む  
「そうだ京都行こう」ではありません 掛川です

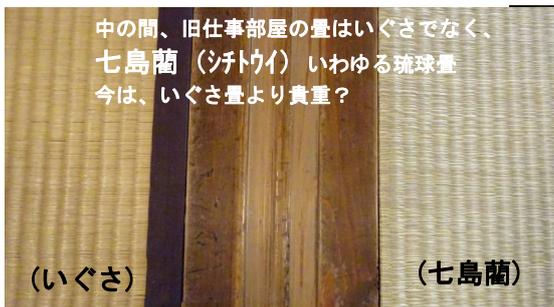
10月、11月の庭園は  
紅葉も相まって、ちょうど見頃のはず



広縁の竿縁天井  
竿縁が長手方向に配置されているので、  
やたらと細くて長い  
ふつう、逆方向使いだらうと思う



ぬれ縁に座って、深蒸し茶を  
飲みたい！



中の間、旧仕事部屋の畳はいぐさでなく、  
七島藁 (シチトウイ) いわゆる琉球畳  
今は、いぐさ畳より貴重？

(いぐさ)

(七島藁)



井桁に組まれた小屋梁  
梁の曲がりを利用して、そのま  
ま下屋まで伸ばし、継手を設け  
ない贅うにしている



1尺角の大黒柱  
たてのぼせ柱4本  
のうちの1本  
梁組は二の小屋組  
その他、貫、小屋  
筋違、土壁ががっ  
ちり組まれている



明治天皇が泊まれた表座敷  
遊びに来た昭和の子供達の記憶  
「この部屋だけは  
入らないように」と  
言われたようです



表座敷の欄間

上部がハヌケになって  
いるがこれは折れてな  
くなくなったわけではなく  
初めから片持ちで彫ら  
れているよう

構造用特厚合板 28mm やホールダウン金物などがあつたら、もうちょっと楽に考えられたらどうなあとと思います。それ以前に耐震性を上げたいならもっと壁を増やせばいいのに・・・とも思いました。

でもまあ、元旦から続く地震のことや、来年から始まる新2号建築物のことも考えると、服部棟梁を見習って、私たちもより創意工夫をして、より良い建築づくりを目指さないといけないなあと感じました。

松ヶ岡は、毎週第4土曜日に見学ができます。詳しくは <https://www.bt-r.jp/matsugaoka/> まで。